

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月26日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県名古屋市中区栄4-3-26	
昭和ビル8階	
氏 名 株式会社熊谷組 名古屋支店	
執行役員支店長 林 大輔	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 052-238-3477	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社熊谷組 名古屋支店
事業場の所在地	愛知県名古屋市中区栄四丁目3番26号 昭和ビル8階
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	4,447,610万円
③ 従業員数	334人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 図ー1 廃棄物処理フロー図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 図ー2 建設副産物管理体制表のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ ISO14001に係る取り組みの中で廃棄物の適正処理に関する教育を行っている。 ・ 作業所業務においては協力業者を対象として新規入場時教育等により産業廃棄物の排出抑制ならびに分別の教育指導を行っている。 ・ 余剰資材の発生しない資材搬入管理を行う。 ・ 効率的な歩留まりを考慮した資材の発注を行う。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 今後も現状の取組みを維持して行く。 参考資料 ： 別添 熊谷組グループの環境保全活動		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・分別を徹底し混合廃棄物の発生を抑制する。 ・コンクリート及びアスファルトについては、再資源化施設を有する産業廃棄物処理業者に処理を委託する。 ・木くずについては、分別を徹底し、再資源化施設を有する産業廃棄物処理業者に処理を委託し、チップ化、堆肥化、固形燃料化などを行うことで再資源化する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 今後も現状の取り組みを維持して行く。		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和7 年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

単位:t

産業廃棄物の種類	総排出量	自らの再生利用を行った（行う）量				自らの熱回収を行った（行う）量				自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量				処理の委託										
		自らの再生利用を行った（行う）量		実績	計画	自らの熱回収を行った（行う）量		実績	計画	自ら行う中間処理		実績	計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		実績	計画	優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		②+⑧				⑤				⑦								⑩		⑪		⑫			⑬		⑭	
		実績	計画			実績	計画			実績	計画							実績	計画	実績	計画	実績	計画		実績	計画	実績	計画
1 燃え殻																												
2 汚泥	6831	5000	0	0	0	0	0	0	0	6831	5000	1219	1500	6831	5000	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
3 廃油																												
4 廃酸																												
5 廃アルカリ																												
6 廃プラスチック類	561	550	0	0	0	0	0	0	0	561	550	555	530	559	550	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
1 紙くず	48	45	0	0	0	0	0	0	0	48	45	45	43	48	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
2 木くず	1236	1200	0	0	0	0	0	0	0	1236	1200	1213	1150	1236	1200	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
3 繊維くず																												
4 動植物性残さ																												
5 ゴムくず																												
6 金属くず	45	40	0	0	0	0	0	0	0	45	40	45	35	45	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	759	720	0	0	0	0	0	0	0	759	720	759	700	754	720	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
8 鋳さい																												
9 がれき類	8611	8000	0	0	0	0	0	0	0	8611	8000	2788	3000	8611	8000	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
10 家畜ふん尿																												
11 家畜の死体																												
12 動物系固形不要物																												
13 ばいじん																												
14 処分するために処理したもの																												
建設混合廃棄物	579	500	0	0	0	0	0	0	0	579	500	551	480	579	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
合 計	18670	16055	0	0	0	0	0	0	0	18670	16055	7175	7438	18663	16055	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

※ 総排出量＝自らの再生利用を行った（行う）量＋自らの中間処理により減量した（する）量＋自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量＋全処理委託量

【記載方法】

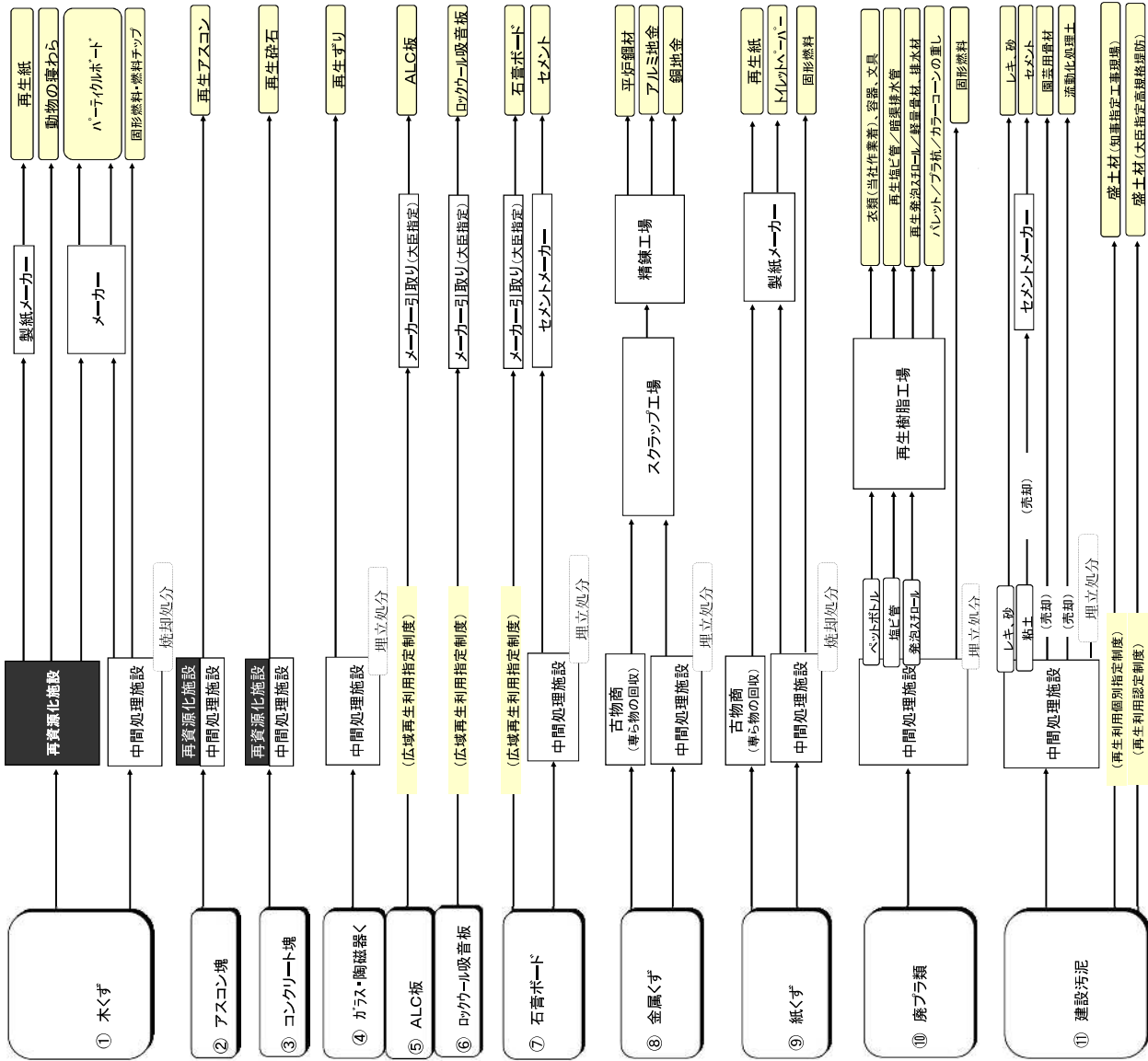
- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績（現状）を右に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- ・「自らの再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。

図ー1 廃棄物処理フロー図

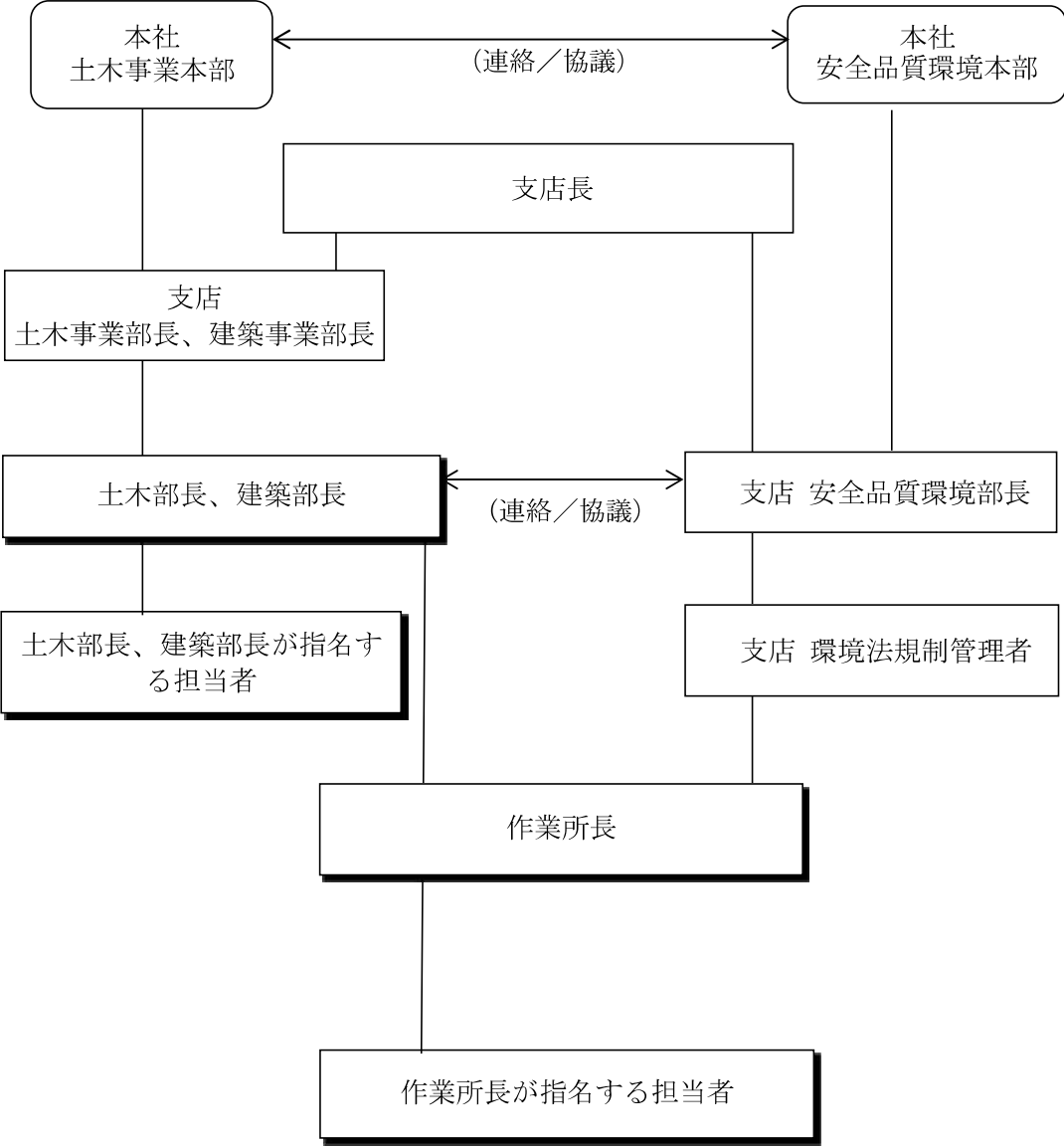
発生排出状況

工種別の廃棄物

《準備・仮設工事》	
(1) 伐開除根工事	① 伐採材／除根材
(2) 既設構造物撤去工事	
コンクリート塊（擁壁等）	②
ブロック等（2次製品）	④
(3) 仮設工事	
番線、車管パイプ	⑧
カラースプレーの空缶	⑧
電線	⑧
段ボール	⑨
ブルーシート／土のう袋	⑩
発泡スチロール（梱包用）	⑩
《掘削・基礎工事》	
工機材、灰板	①
PC杭頭／現場打杭頭はつりくず	④
セメント系固化材のトン袋	④
廃棄泥水／泥水混り掘削土など（アースドリル／SMW／リバース）	⑩
《躯体工事》	
さん木／ばた角	①
型枠用合板	①
ALC版の端材	④、⑤
番線くず、鉄筋端材	⑧
鋼ボイド	⑧
アラ面木／プラ目地棒	⑩
《建築工事》	
(1) 仕上工事	① 木工事の木くず
コンクリートなどのはつりくず	④
タイル／陶器／ガラスの端材	④
ロックウール吸音板	④、⑥
石膏ボードの端材	⑦
塗料空缶	⑧
サッシ端材	⑧
軽鉄（軽量鉄骨下地）	⑧
厚紙／クロス	⑩
吹付工事の養生ビニール	⑩
コーキング空きチューブ	⑩
(2) 設備・外構・屋根工事	
U字腹、ブロック等の端材	④
養生材（ササ織維）	④
ダクト端材	⑧
配管塩ビ端材	⑩
防水シート	⑩
《土木工事》	
セガメントシート材	⑩
廃棄泥水／泥水混り掘削土など（泥水シールド工法など）	⑩
取水ケーキ（濁水処理プラント）	⑩
《一般廃棄物》	
ジュース缶（スチール／アルミ）	⑧
新聞紙／コピー用紙	⑨
コンビニ弁当箱／ペットボトル	⑩
ゴミ手袋	⑩



図－２ 建設副産物管理体制表



環境への取組み

環境経営に関する基本的な考え方

熊谷組グループは、限りある資源が循環し、ひと・社会・自然が豊かであり続ける社会を目指して、「持続可能な社会」の実現のために「気候変動リスクへの対応」「循環に配慮した事業の推進」を重要課題（マテリアリティ）とし、「カーボンニュートラルの達成」「ゼロエミッションの達成」「ネイチャーポジティブの実現」などを個別課題に挙げ、目標を定め取り組んでいます。



環境保全の中長期目標

脱炭素社会への移行推進のための目標

- スコープ1+2 2020年比、2030年42%削減、2050年カーボンニュートラル
- スコープ3 2020年比、2030年25%削減、2050年カーボンニュートラル

循環型社会の形成の推進の目標

- 廃棄物の最終処分量ゼロを目指すため、3Rの推進と建設廃棄物廃棄物排出率2.0%以下の維持

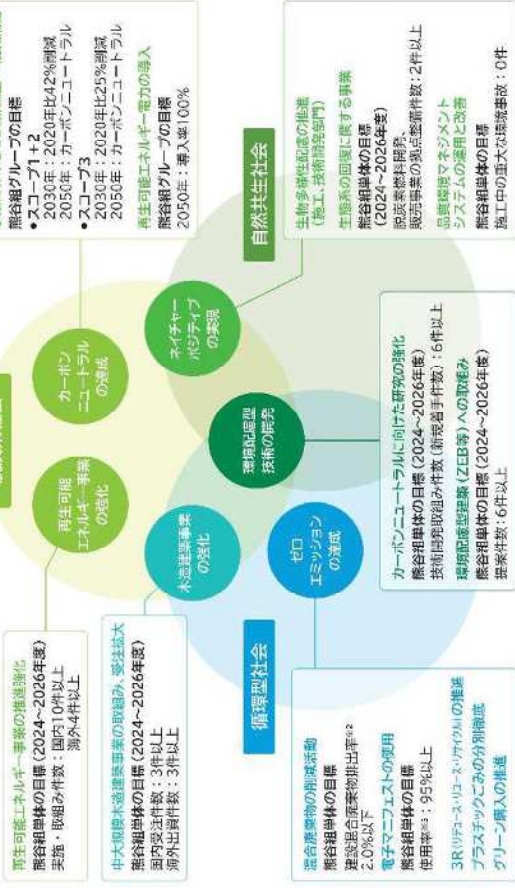
環境に配慮した事業の推進

熊谷組は、2010年よりエコ・ファースト企業として、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進しています。熊谷組グループとして2021年2月にRE100に加盟し、事業活動における使用電力を100%再生可能エネルギーとする取組みを進めており、温室効果ガス排出削減の中長期目標では、国際的な枠組みであるSBT認定を取得し、目標達成を目指しています。情報開示では、国際的な環境非営利団体CDPより、気候変動部門において最高評価である「A1」リストに選定され、サプライヤー・エンゲージメント評価においても、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に3年連続で選定されました。

2023年1月には「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同を表明し、気候関連のリスクおよび機会の特定・評価と、事業活動に与える影響についてのシナリオ分析を行い、その結果を踏まえた情報を開示しました。今後は、事業活動において重機や車両で使用する化石燃料をさらに削減し、再生可能エネルギーを積極的に導入するとともに、当社が提供する建物の大幅な省エネに寄与するZEBの普及促進、再生可能エネルギーの活用、脱炭素化をさらに加速していきます。

環境への取組み

環境課題と取組み目標



※1 CO2排出量

※2 CO2排出量（建設現場）※3 CO2排出量（建設現場）

※4 CO2排出量（建設現場）※5 CO2排出量（建設現場）

※6 CO2排出量（建設現場）※7 CO2排出量（建設現場）

※8 CO2排出量（建設現場）※9 CO2排出量（建設現場）

※10 CO2排出量（建設現場）※11 CO2排出量（建設現場）

※12 CO2排出量（建設現場）※13 CO2排出量（建設現場）

※14 CO2排出量（建設現場）※15 CO2排出量（建設現場）

※16 CO2排出量（建設現場）※17 CO2排出量（建設現場）

※18 CO2排出量（建設現場）※19 CO2排出量（建設現場）

※20 CO2排出量（建設現場）※21 CO2排出量（建設現場）

※22 CO2排出量（建設現場）※23 CO2排出量（建設現場）

※24 CO2排出量（建設現場）※25 CO2排出量（建設現場）

※26 CO2排出量（建設現場）※27 CO2排出量（建設現場）

※28 CO2排出量（建設現場）※29 CO2排出量（建設現場）

※30 CO2排出量（建設現場）※31 CO2排出量（建設現場）

※32 CO2排出量（建設現場）※33 CO2排出量（建設現場）

※34 CO2排出量（建設現場）※35 CO2排出量（建設現場）

※36 CO2排出量（建設現場）※37 CO2排出量（建設現場）

※38 CO2排出量（建設現場）※39 CO2排出量（建設現場）

※40 CO2排出量（建設現場）※41 CO2排出量（建設現場）

※42 CO2排出量（建設現場）※43 CO2排出量（建設現場）

※44 CO2排出量（建設現場）※45 CO2排出量（建設現場）

※46 CO2排出量（建設現場）※47 CO2排出量（建設現場）

※48 CO2排出量（建設現場）※49 CO2排出量（建設現場）

※50 CO2排出量（建設現場）※51 CO2排出量（建設現場）

※52 CO2排出量（建設現場）※53 CO2排出量（建設現場）

※54 CO2排出量（建設現場）※55 CO2排出量（建設現場）

※56 CO2排出量（建設現場）※57 CO2排出量（建設現場）

※58 CO2排出量（建設現場）※59 CO2排出量（建設現場）

※60 CO2排出量（建設現場）※61 CO2排出量（建設現場）

※62 CO2排出量（建設現場）※63 CO2排出量（建設現場）

※64 CO2排出量（建設現場）※65 CO2排出量（建設現場）

※66 CO2排出量（建設現場）※67 CO2排出量（建設現場）

※68 CO2排出量（建設現場）※69 CO2排出量（建設現場）

※70 CO2排出量（建設現場）※71 CO2排出量（建設現場）

※72 CO2排出量（建設現場）※73 CO2排出量（建設現場）

※74 CO2排出量（建設現場）※75 CO2排出量（建設現場）

※76 CO2排出量（建設現場）※77 CO2排出量（建設現場）

※78 CO2排出量（建設現場）※79 CO2排出量（建設現場）

※80 CO2排出量（建設現場）※81 CO2排出量（建設現場）

※82 CO2排出量（建設現場）※83 CO2排出量（建設現場）

※84 CO2排出量（建設現場）※85 CO2排出量（建設現場）

※86 CO2排出量（建設現場）※87 CO2排出量（建設現場）

※88 CO2排出量（建設現場）※89 CO2排出量（建設現場）

※90 CO2排出量（建設現場）※91 CO2排出量（建設現場）

※92 CO2排出量（建設現場）※93 CO2排出量（建設現場）

※94 CO2排出量（建設現場）※95 CO2排出量（建設現場）

※96 CO2排出量（建設現場）※97 CO2排出量（建設現場）

※98 CO2排出量（建設現場）※99 CO2排出量（建設現場）

※100 CO2排出量（建設現場）※101 CO2排出量（建設現場）

※102 CO2排出量（建設現場）※103 CO2排出量（建設現場）

※104 CO2排出量（建設現場）※105 CO2排出量（建設現場）

※106 CO2排出量（建設現場）※107 CO2排出量（建設現場）

※108 CO2排出量（建設現場）※109 CO2排出量（建設現場）

※110 CO2排出量（建設現場）※111 CO2排出量（建設現場）

※112 CO2排出量（建設現場）※113 CO2排出量（建設現場）

※114 CO2排出量（建設現場）※115 CO2排出量（建設現場）

※116 CO2排出量（建設現場）※117 CO2排出量（建設現場）

※118 CO2排出量（建設現場）※119 CO2排出量（建設現場）

※120 CO2排出量（建設現場）※121 CO2排出量（建設現場）

※122 CO2排出量（建設現場）※123 CO2排出量（建設現場）

※124 CO2排出量（建設現場）※125 CO2排出量（建設現場）

※126 CO2排出量（建設現場）※127 CO2排出量（建設現場）

※128 CO2排出量（建設現場）※129 CO2排出量（建設現場）

※130 CO2排出量（建設現場）※131 CO2排出量（建設現場）

※132 CO2排出量（建設現場）※133 CO2排出量（建設現場）

※134 CO2排出量（建設現場）※135 CO2排出量（建設現場）

※136 CO2排出量（建設現場）※137 CO2排出量（建設現場）

※138 CO2排出量（建設現場）※139 CO2排出量（建設現場）

※140 CO2排出量（建設現場）※141 CO2排出量（建設現場）

※142 CO2排出量（建設現場）※143 CO2排出量（建設現場）

※144 CO2排出量（建設現場）※145 CO2排出量（建設現場）

※146 CO2排出量（建設現場）※147 CO2排出量（建設現場）

※148 CO2排出量（建設現場）※149 CO2排出量（建設現場）

※150 CO2排出量（建設現場）※151 CO2排出量（建設現場）

※152 CO2排出量（建設現場）※153 CO2排出量（建設現場）

※154 CO2排出量（建設現場）※155 CO2排出量（建設現場）

※156 CO2排出量（建設現場）※157 CO2排出量（建設現場）

※158 CO2排出量（建設現場）※159 CO2排出量（建設現場）

※160 CO2排出量（建設現場）※161 CO2排出量（建設現場）

※162 CO2排出量（建設現場）※163 CO2排出量（建設現場）

※164 CO2排出量（建設現場）※165 CO2排出量（建設現場）

※166 CO2排出量（建設現場）※167 CO2排出量（建設現場）

※168 CO2排出量（建設現場）※169 CO2排出量（建設現場）

※170 CO2排出量（建設現場）※171 CO2排出量（建設現場）

※172 CO2排出量（建設現場）※173 CO2排出量（建設現場）

※174 CO2排出量（建設現場）※175 CO2排出量（建設現場）

※176 CO2排出量（建設現場）※177 CO2排出量（建設現場）

※178 CO2排出量（建設現場）※179 CO2排出量（建設現場）

※180 CO2排出量（建設現場）※181 CO2排出量（建設現場）

※182 CO2排出量（建設現場）※183 CO2排出量（建設現場）

※184 CO2排出量（建設現場）※185 CO2排出量（建設現場）

※186 CO2排出量（建設現場）※187 CO2排出量（建設現場）

※188 CO2排出量（建設現場）※189 CO2排出量（建設現場）

※190 CO2排出量（建設現場）※191 CO2排出量（建設現場）

※192 CO2排出量（建設現場）※193 CO2排出量（建設現場）

※194 CO2排出量（建設現場）※195 CO2排出量（建設現場）

※196 CO2排出量（建設現場）※197 CO2排出量（建設現場）

※198 CO2排出量（建設現場）※199 CO2排出量（建設現場）

※200 CO2排出量（建設現場）※201 CO2排出量（建設現場）

※202 CO2排出量（建設現場）※203 CO2排出量（建設現場）

※204 CO2排出量（建設現場）※205 CO2排出量（建設現場）

※206 CO2排出量（建設現場）※207 CO2排出量（建設現場）

※208 CO2排出量（建設現場）※209 CO2排出量（建設現場）

※210 CO2排出量（建設現場）※211 CO2排出量（建設現場）

※212 CO2排出量（建設現場）※213 CO2排出量（建設現場）

※214 CO2排出量（建設現場）※215 CO2排出量（建設現場）

※216 CO2排出量（建設現場）※217 CO2排出量（建設現場）

※218 CO2排出量（建設現場）※219 CO2排出量（建設現場）

※220 CO2排出量（建設現場）※221 CO2排出量（建設現場）

※222 CO2排出量（建設現場）※223 CO2排出量（建設現場）

※224 CO2排出量（建設現場）※225 CO2排出量（建設現場）

※226 CO2排出量（建設現場）※227 CO2排出量（建設現場）

※228 CO2排出量（建設現場）※229 CO2排出量（建設現場）

※230 CO2排出量（建設現場）※231 CO2排出量（建設現場）

※232 CO2排出量（建設現場）※233 CO2排出量（建設現場）

※234 CO2排出量（建設現場）※235 CO2排出量（建設現場）

※236 CO2排出量（建設現場）※237 CO2排出量（建設現場）

※238 CO2排出量（建設現場）※239 CO2排出量（建設現場）

※240 CO2排出量（建設現場）※241 CO2排出量（建設現場）

※242 CO2排出量（建設現場）※243 CO2排出量（建設現場）

※244 CO2排出量（建設現場）※245 CO2排出量（建設現場）

※246 CO2排出量（建設現場）※247 CO2排出量（建設現場）

※248 CO2排出量（建設現場）※249 CO2排出量（建設現場）

※250 CO2排出量（建設現場）※251 CO2排出量（建設現場）

※252 CO2排出量（建設現場）※253 CO2排出量（建設現場）

※254 CO2排出量（建設現場）※255 CO2排出量（建設現場）

※256 CO2排出量（建設現場）※257 CO2排出量（建設現場）

※258 CO2排出量（建設現場）※259 CO2排出量（建設現場）

※260 CO2排出量（建設現場）※261 CO2排出量（建設現場）

※262 CO2排出量（建設現場）※263 CO2排出量（建設現場）

※264 CO2排出量（建設現場）※265 CO2排出量（建設現場）

※266 CO2排出量（建設現場）※267 CO2排出量（建設現場）

※268 CO2排出量（建設現場）※269 CO2排出量（建設現場）

※270 CO2排出量（建設現場）※271 CO2排出量（建設現場）

※272 CO2排出量（建設現場）※273 CO2排出量（建設現場）

※274 CO2排出量（建設現場）※275 CO2排出量（建設現場）

※276 CO2排出量（建設現場）※277 CO2排出量（建設現場）

※278 CO2排出量（建設現場）※279 CO2排出量（建設現場）

※280 CO2排出量（建設現場）※281 CO2排出量（建設現場）

※282 CO2排出量（建設現場）※283 CO2排出量（建設現場）

※284 CO2排出量（建設現場）※285 CO2排出量（建設現場）

※286 CO2排出量（建設現場）※287 CO2排出量（建設現場）

※288 CO2排出量（建設現場）※289 CO2排出量（建設現場）

※290 CO2排出量（建設現場）※291 CO2排出量（建設現場）

※292 CO2排出量（建設現場）※293 CO2排出量（建設現場）

※294 CO2排出量（建設現場）※295 CO2排出量（建設現場）

※296 CO2排出量（建設現場）※297 CO2排出量（建設現場）

※298 CO2排出量（建設現場）※299 CO2排出量（建設現場）

※300 CO2排出量（建設現場）※301 CO2排出量（建設現場）

※302 CO2排出量（建設現場）※303 CO2排出量（建設現場）

※304 CO2排出量（建設現場）※305 CO2排出量（建設現場）

※306 CO2排出量（建設現場）※307 CO2排出量（建設現場）

※308 CO2排出量（建設現場）※309 CO2排出量（建設現場）

※310 CO2排出量（建設現場）※311 CO2排出量（建設現場）

※312 CO2排出量（建設現場）※313 CO2排出量（建設現場）

※314 CO2排出量（建設現場）※315 CO2排出量（建設現場）

※316 CO2排出量（建設現場）※317 CO2排出量（建設現場）

※318 CO2排出量（建設現場）※319 CO2排出量（建設現場）

※320 CO2排出量（建設現場）※321 CO2排出量（建設現場）

※322 CO2排出量（建設現場）※323 CO2排出量（建設現場）

※324 CO2排出量（建設現場）※325 CO2排出量（建設現場）

※326 CO2排出量（建設現場）※327 CO2排出量（建設現場）

※328 CO2排出量（建設現場）※329 CO2排出量（建設現場）

※330 CO2排出量（建設現場）※331 CO2排出量（建設現場）

※332 CO2排出量（建設現場）※333 CO2排出量（建設現場）

※334 CO2排出量（建設現場）※335 CO2排出量（建設現場）

※336 CO2排出量（建設現場）※337 CO2排出量（建設現場）

※338 CO2排出量（建設現場）※339 CO2排出量（建設現場）

※340 CO2排出量（建設現場）※341 CO2排出量（建設現場）

※342 CO2排出量（建設現場）※343 CO2排出量（建設現場）

※344 CO2排出量（建設現場）※345 CO2排出量（建設現場）

※346 CO2排出量（建設現場）※347 CO2排出量（建設現場）

※348 CO2排出量（建設現場）※349 CO2排出量（建設現場）

※350 CO2排出量（建設現場）※351 CO2排出量（建設現場）

※352 CO2排出量（建設現場）※353 CO2排出量（建設現場）

※354 CO2排出量（建設現場）※355 CO2排出量（建設現場）

※356 CO2排出量（建設現場）※357 CO2排出量（建設現場）

※358 CO2排出量（建設現場）※359 CO2排出量（建設現場）

※360 CO2排出量（建設現場）※361 CO2排出量（建設現場）

※362 CO2排出量（建設現場）※363 CO2排出量（建設現場）

※364 CO2排出量（建設現場）※365 CO2排出量（建設現場）

※366 CO2排出量（建設現場）※367 CO2排出量（建設現場）

※368 CO2排出量（建設現場）※369 CO2排出量（建設現場）

※370 CO2排出量（建設現場）※371 CO2排出量（建設現場）

※372 CO2排出量（建設現場）※373 CO2排出量（建設現場）

※374 CO2排出量（建設現場）※375 CO2排出量（建設現場）

※376 CO2排出量（建設現場）※377 CO2排出量（建設現場）

※378 CO2排出量（建設現場）※379 CO2排出量（建設現場）

※380 CO2排出量（建設現場）※381 CO2排出量（建設現場）

※382 CO2排出量（建設現場）※383 CO2排出量（建設現場）

※384 CO2排出量（建設現場）※385 CO2排出量（建設現場）

※386 CO2排出量（建設現場）※387 CO2排出量（建設現場）

※388 CO2排出量（建設現場）※389 CO2排出量（建設現場）

